

3 歯科保健推進に向けた取組

(2) 歯と口腔を清潔に保ちます

ライフステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの実施
					R6年度の対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
全体	29	丁寧な歯みがきを心がけます。	・自分に合った口腔ケアの正しい知識について、普及啓発や情報提供の充実を図ります。	自分に合った歯ブラシを用いることを推奨し、口腔ケアの正しい知識について、普及啓発や情報提供の充実を図ります。	乳幼児(4か月児・1.6歳児・3歳児)健診の歯みがき指導47回 2444名 乳幼児健康相談12回61人 びよんびよん一む6回12組 出前講座 19名 糖尿病予防講座 9名 新狭山子どもフェスティバル1回8人 子育てプレイス等9回90人 ぱくぱくベビー6回52人	5	保健センター	実施していない
乳幼児期	30	・寝る前に大人が仕上げ磨きをします。 ・むし歯予防にフッ化物入りの歯磨き等を使用します。	・乳幼児健診等で大人が仕上げ磨きをする大切さを伝えます。 ・フッ化物について正しい知識を伝えます。	乳幼児健診等で大人が仕上げ磨きをすることにより、乳歯をむし歯から守ることを伝え、また、フッ化物の正しい仕様方法を周知していきます。	乳幼児(4か月児・1.6歳児・3歳児)健診の歯みがき指導47回 2444名 乳幼児健康相談12回61人 びよんびよん一む6回12組 新狭山子どもフェスティバル1回8人 子育てプレイス等9回90人 ぱくぱくベビー6回52人	5	保健センター	実施していない
学童・思春期	31	・1日1回は十分な時間をかけて、丁寧に歯磨きをします。 ・デンタルフロスを習慣にします。	・歯科医師・歯科衛生士による口腔衛生指導をする場を設け、口腔ケアの正しい知識を啓発します。	小学校における歯科保健衛生思想の普及啓発を目的として、歯科衛生士が、むし歯や歯肉炎の予防に必要な知識の伝達、及び歯磨き指導を行います。模型を使用し磨きにくい箇所やデンタルフロスの使い方を説明します。	事業名:学校歯科保健指導 対象者:市内小学校4～6年生のうち、学校が希望した学年と特別支援学級 実施学校数:15校 実施クラス数:44クラス	5	学務課	実施した
成人期	32	・デンタルフロスや歯間ブラシ等、歯と歯の清掃用具を使用します。 ・定期的に健診や歯石除去、歯面清掃をしてくれるかかりつけ歯科医を持ちます。	・歯科保健事業(教室等)で歯周病予防を伝えていきます。	歯科保健事業(教室等)で歯周病予防を伝えていくとともに、かかりつけ歯科を作り、定期的に健診等をするように推奨していきます。	糖尿病予防教室 9人 むし歯予防デー歯科コーナー47名 むし歯予防デー受診者 135人	5	保健センター	実施していない
高齢期	33	・誤嚥性肺炎の予防を意識し、口腔ケアに努めます。 ・根面むし歯予防の為に、フッ化物入りの歯磨き等を使用します。 ・デンタルフロスや歯間ブラシ等、歯と歯の間の清掃用具を使用します。	・フッ化物について正しい知識を伝えます。 ・口腔体操や唾液腺マッサージについてプリント等を使用しながら伝えていきます。	介護予防普及啓発事業や住民主体で活動する「いきいき百歳体操」への支援として行う口腔講座の機会を活用し、口腔体操を含むプリントを配布し誤嚥性肺炎の予防を意識した口腔ケアの必要性を伝えます。	「いきいき百歳体操」における歯科講座 11回 オーラルフレイル予防と介護予防体操の講演会 1回	5	介護保険課	実施していない
				歯科保健事業(教室等)で歯周病予防や根面むし歯の特性や露出した根面の強化について周知していきます。	出前講座 19名 糖尿病予防講座 9名	5	保健センター	実施していない